

ぎょうだ ふるさと 検定

残念不正解です！

問題

2655. 明治、大正期の実業家で行田の近代化を進め、印刷業の傍ら行田電燈株式会社を設立し、行田の渋沢栄一と呼ばれた人物は誰ですか。

ア 今津 徳之助 イ 松平 忠久 ウ 川島 奇北

正解 ウ

今津徳之助は電信、電話、馬車鉄道、電気など行田の近代化事業に中心的な役割を果たし、「行田の渋沢栄一」と言われました。

今津 徳之助(1854～1919)

実業家

今津印刷所の創業者、埼玉で最初に活版印刷機を導入、また忍町町会議員や忍町商工会会長(20年)を務めた。

さらには、郵便局の設立、電話会社、行田電灯会社(でんとうかいしゃ)、馬車(ばしゃ)鉄道会社などの設立に尽力する。

また北部鉄道(現、秩父鉄道)の開設に力を注ぐ等、多方面に活躍したことから「行田の渋沢栄一」と称された。

行田の偉人 行田市外で活躍された人々 行田市民大学講義より抜粋